

科目ナンバー： 研究・CNS：MC9033

授業コード： 6630900300

講義科目名称： 地域看護学援助論Ⅱ

英文科目名称： Advanced Community Health NursingⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎高林知佳子、関睦美、永吉雅人			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎高林 知佳子 関 睦美 永吉 雅人	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上	【研究室】 304 301 211	【メールアドレス】 takabaya@niigata-cn.ac.jp museki@niigata-cn.ac.jp nagayosi@niigata-cn.ac.jp
	【大学の科目区分】 専門分野			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】			
	研究 ○	CNS ◎	助産 ○	

到達目標	1. 地域看護領域における自己の関心分野の文献検討を通して、自己の研究課題を明確にすることができる。 2. 研究計画立案に向けて研究方法の吟味と提案ができる。
------	--

授業概要	1. 地域看護領域における関心分野の研究の動向を把握し、研究課題の明確化を図る。 2. 研究計画立案について理解を深める。
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：地域看護における研究プロセス 学修内容：1. 授業概要、授業構成、授業スケジュール 2. 研究課題と研究意義の明確化、研究方法の検討、研究計画書の構成、研究論文の構成、研究倫理 事前学修：シラバスを読み、授業全体の流れを把握する。 事後学修：研究プロセスの全体像を振り返る。 備考：高林、関</p> <p>2 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：地域看護における研究課題の明確化 学修内容：研究課題と研究意義の明確化 事前学修：自身の関心分野を整理してくる。 事後学修：研究課題と研究意義を言語化する。 備考：高林、関</p> <p>3 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究課題の根拠となるための文献検討1 学修内容：国内外の文献検索・文献検討1 事前学修：関連しそうな文献を数本探す。 事後学修：文献の概要を簡単にまとめる。 備考：高林、関</p> <p>4 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究課題の根拠となるための文献検討2 学修内容：国内外の文献検索・文献検討2 事前学修：前回の文献検討を読み直す。 事後学修：研究課題との関連を整理する。 備考：高林、関</p> <p>5 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究課題の根拠となるための文献検討3 学修内容：国内外の文献検索・文献検討3 事前学修：追加で必要な文献を探す。 事後学修：文献間の共通点・相違点を整理する。 備考：高林、関</p> <p>6 授業内容</p>
------	---

7	<p>授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究課題の根拠となるための文献検討4 学修内容：国内外の文献検索・文献検討4 事前学修：文献検討のまとめ案を作成する。 事後学修：研究課題の妥当性を振り返る。 備考：高林、関</p> <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究課題の根拠となるための文献検討5 学修内容：国内外の文献検索・文献検討5 事前学修：研究課題案を再確認する。 事後学修：課題設定の課題点を整理する。 備考：高林、関</p>
8	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究課題の決定1 学修内容：研究課題と研究意義の見直し 事前学修：研究課題と研究意義を書き出す。 事後学修：指摘を踏まえて修正点を整理する。 備考：高林、関</p>
9	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究課題の決定2 学修内容：研究課題と研究意義の決定 事前学修：最終的な研究課題案を準備する。 事後学修：研究課題を確定させる。 備考：高林、関</p>
10	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画の検討1 学修内容：研究デザイン 事前学修：研究デザインの種類を調べる。 事後学修：自身の研究に適したデザインを整理する。 備考：高林、関</p>
11	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画の検討2 学修内容：概念枠組みの検討 事前学修：概念枠組みの例を確認する。 事後学修：自分の研究の概念関係を整理する。 備考：高林、関</p>
12	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画の検討3 学修内容：研究方法の検討 事前学修：研究方法案を考えてくる。 事後学修：方法の妥当性と課題を整理する。 備考：高林、関</p>
13	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画の検討4 学修内容：研究フィールドの検討 事前学修：想定される研究フィールドを考える。 事後学修：実施上の課題を整理する。 備考：高林、関</p>
14	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画の検討5 学修内容：関連学会参加の検討 事前学修：関連学会や研究動向を調べる。 事後学修：研究との関連を整理する。 備考：高林、関</p>
15	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：研究計画書の提案 学修内容：1. 研究計画書案の提示 2. 研究計画書の作成にかかわる課題の整理 事前学修：研究計画書案を作成する。 事後学修：今後の修正点・課題を整理する。 備考：高林、関、永吉</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標1, 2に対し、プレゼンテーションと討論（50%）、研究計画書案（50%）により評価する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため、特定のテキストは使用しない。
参考図書・資料等	・ 牧本清子・山川みやえ（2020）：研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティク 第2版，日本看護協会出版会。 その他、開講時に提示する。授業の中で参考図書を紹介する。

受講、課題、資料配布等のルール	・授業は、事前学修した内容についてプレゼンテーションし、事前にまとめてきた疑問点や不明点・討議したい内容に沿って討議を進めるゼミ形式とする。 ※詳細は初回開講時に説明する。
教員からのメッセージ	文献検討を通し研究課題と研究の意義の明確化をはかり、研究計画書作成に向け準備を進めていきましょう。
オフィスアワー	メールにてご連絡ください（メールアドレス：takabaya@niigata-cn.ac.jp）。